

～ 富士見市指定文化財の紹介 ～

氷川前遺跡出土銅鉢

指 定	市
種 別	有形文化財
種 類	考古資料
員 数	1 点
指定日	令和6年(2024)2月8日
所在地	富士見市大字上南畑306-1 文化財整理室



上面から



側面から



平安時代の竪穴式住居跡から出土した様子

【 概 説 】

水子地区に所在する氷川前遺跡第95地点（大字水子2137-1他）において、約1,200年前（9世紀・平安時代）の竪穴式住居跡から出土した銅鉢です。口径18.9cm、器高4.8cmを測ります。胴部の一部分が欠損していますが、ほとんど完形で出土しました。

銅鉢とは、青銅などを用いて作られた椀状を呈する容器で、香炉や水瓶などと同様に、仏教において仏を供養するための道具として用いられたものと考えられています。平安時代の集落跡から完形に近い銅鉢が出土したのは、埼玉県内で初の事例です。

市域の集落内に銅鉢が持ち込まれていたことは、当時の市域における仏教に関する信仰や文化、社会の様子を考える上で非常に重要な情報であり、貴重な発見です。